

銀 鈴 会

— ミニ案内 —

名称の由来

『沈黙は金、雄弁は銀』ということばがあります。“多く語るより黙して語らずの方が良い”という東洋古来の思想です。しかし私たち喉頭摘出者は“多くを語る銀であってほしい、出来れば鈴のように美しい声になりたい”との願望を込めて命名されました。

公益社団法人 銀 鈴 会 会 長 新 美 典 子

事 務 所 〒105-0004
東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901
TEL 03-3436-1820 FAX 03-3436-3497
Eメール office@ginreikai.or.jp
U R L <http://www.ginreikai.or.jp/>

発声教室 〒108-0014
東京都港区芝 5-18-2 東京都障害者福祉会館

認可事項 社 団 法 人 (厚生省 第9号 昭和40年1月6日)
特定公益増進法人 (厚生労働省 障第1211002号 H19.12.11付)
(平成22年1月18日改定)
公益社団法人 (内閣府 府益坦 第2536号 H23.3.24付)
(平成23年4月1日改定)

設 立

昭和29年（1954年）9月、元慶応病院耳鼻咽喉科部長林義雄先生と元東大病院の高藤次夫先生の指導と助言により、重原勇治氏が初代会長となって設立されました。

目的と運営

銀鈴会は、喉頭摘出手術を受けた者への発声技術を指導し、会員の社会復帰を促進することを目的に設立された団体で、主に会員の自主的なボランティアによって運営されています。

発声教室（東京都委託事業）

指導は食道発声を主として、新入会員は先ず初心クラスで練習を始め、上達するに伴って初級、中級、上級クラスへと昇格していきます。初心クラスはA、B、Cの3チームに、初級クラスはA、Bの2チームに分けマンツーマンに近い形できめ細かい指導をしており、毎回約200人が出席しています。指導員は約40人で、会員の中の適性ある上達者に選考委嘱し、絶えず若い指導者を養成する良い循環に努力しております。

■ 入会手続き

教室開催日に教室受付にて、直接入会申込みをしてください。

受付時間 12時～12時30分

（当日新入会員に対し、入会の説明会（オリエンテーション）を行います。）

■ 費 用

入会時 17,000円

内訳 ・ 入会金 10,000円
・ 年会費 3,000円
・ 教材費 4,000円

食道発声上達への手引き 1,500円 食道発声の手引き 500円
食道発声練習教本 500円 声よいまひとたび 1,200円
食道発声入門（お茶のみ法） 200円 救急カード 100円
この外、機関紙『銀鈴』は無償でお渡しします。

■ 開催場所

東京都港区芝 5-18-2 東京都障害者福祉会館

■ 開催日時

毎週火・木・土曜日 午後 1時～2時30分

土曜日、上級クラスのみ 午前10時～11時30分

春季休講 3月上旬～4月上旬 夏季休講 7月上旬～9月上旬

冬季休講 12月上旬～1月上旬

食道発声

喉頭摘出者にとって最も普及している発声法です。食道に空気を取り込みそれを使って食道の入り口部分を振動させ、声を作る方法です。若干声が低く小さいことと、習得に多少時間を要する難がありますが、健常者と同じ外観で会話が出来る大きなメリットがあります。

会話が可能になるまでの習得期間は手術の方法のほか色々な条件によって大きな個人差があります。条件の良い人なら3ヶ月くらいで、かなりのレベルに達しますが、一般的には1年を目標に指導しています。

近年医療技術の進歩により、喉頭摘出に加えて食道形成など、複雑な食道再建手術を受ける方が多くなってきましたが、これら殆んどすべての方が食道発声の習得が可能です。

TEシャントによる発声

シャント手術による肺の空気を使っての発声ですが、食道の入り口の粘膜のヒダを振動させて声を出すことは食道発声と同じです。

専門の言語聴覚士による発声指導とメンテナンスが受けられます。

ELによる発声

高齢者・体力不足・病弱・その他の理由で食道発声が困難な人には、電動式人工喉頭（エレクトロラリンクス：EL）による発声を勧め、ELクラスを設けてその指導を行っています。

声友クラブ

発声教室を終了された方のOB会です。発声技術の向上と親睦交流を目的として、毎週水曜日と土曜日の午前に、発声教室と同じ場所で例会を行っています。

ELクラブ

ELクラスを終了された方のOB会です。ELによる発声技術の向上と親睦交流を目的として、毎週月・金曜日の午後に、発声教室と同じ場所で例会を行っています。

各区、市町村及びJRなどによる障害者向サービス

銀鈴会では、行政や公共企業による障害者向サービスや、年金・保険金・税制等の障害者支援制度の案内や説明も行っております。入会時のオリエンテーションでお訊ね下さい。

特定非営利活動法人（NPO法人）

日本喉摘者団体連合会（日喉連）

全国的に多くの喉摘者のリハビリ団体が結成されております。それらの統一組織として昭和45年日本喉摘者団体連合会（日喉連）が出来て、銀鈴会が最大の喉摘者団体として活動を続けています。現在60団体が加盟しています。平成12年3月東京都知事より、特定非営利活動法人（NPO法人）に認証されました。

国際協力（喉頭摘出者団体アジア連盟 AFLA）

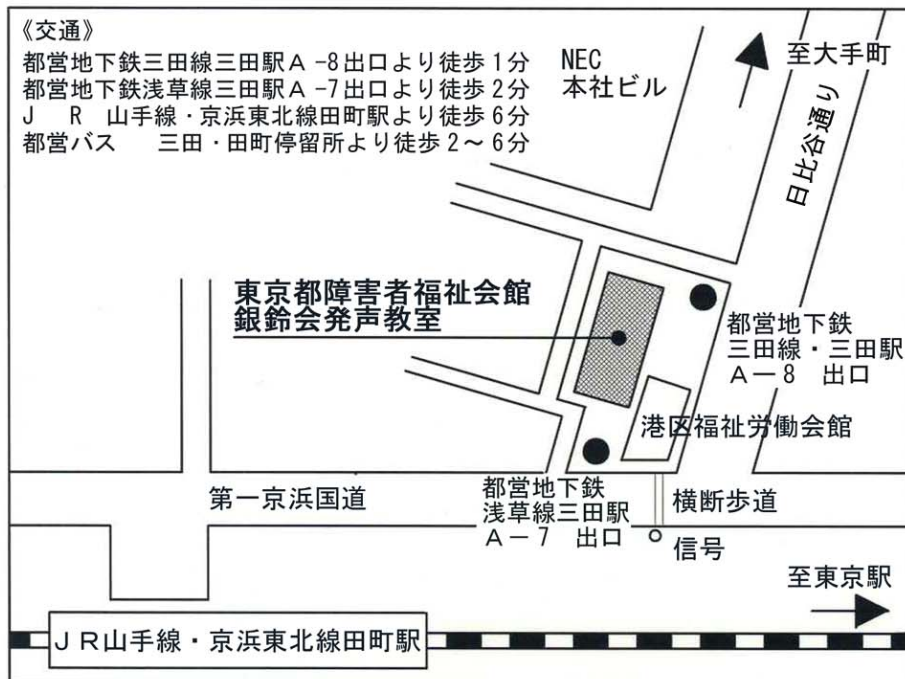
昭和59年（1994年）喉摘者の発声リハビリが極度に遅れていたアジア諸国を積極的に援助協力するために、銀鈴会のリーダーシップで、国連IYDP本部の助言と支援を受けて、喉頭摘出者団体アジア連盟が設立されました。会からベテラン指導員を派遣して現地指導に当るなどの努力を重ねた結果、各国にリハビリ団体が作られ、食道発声の普及が進むようになりました。

現在の加盟国は、バングラディシュ・中国・香港・インド・インドネシア・日本・韓国・マレーシア・ネパール・パキスタン・フィリピン・シンガポール・台湾・タイの14ヶ国地域です。

現在では“国連経済社会理事会と協議資格を持つ非政府組織（NGO）”に認定されています。

< 案内図 >

● 発声教室



東京都港区芝 5-18-2

入会申し込みの方は、直接発声教室へお越しください。
 毎週、火、木、土の12時から受け付けます。

● 事務所



東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901